

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名：コンテンツ生成の循環系を軸とした次世代音声技術基盤の確立

2. 研究代表者： 徳田 恵一（名古屋工業大学大学院工学研究科 教授）

3. 中間評価結果

### （1）研究課題の進捗状況と成果の見込みについて

#### 総合評価コメント

研究代表者が提案・主導してきた「隠れマルコフモデルに基づいた音声合成方式」に関する研究が大きく進展し、合成音声における感情や話者性などの多様性を容易に実現できる次世代の音声合成技術として国際的にも認知された。これを土台として 6 件の音声基盤ツール群を開発し、学術研究用プラットフォームとしてオープンソースによる公開を実施した。なかでも音声対話システム構築ツールキット **MMDAgent** は、スマートフォンやタブレット単体で動作可能な **3D** エージェント付き音声対話システムを実現する世界初のオープンソースソフトウェアである。これら 6 件のオープンソースソフトウェアは本研究が開始されてから中間評価の時点までに世界中から 40 万件以上ダウンロードされ国内外で広く認知され、高く注目されている。研究代表者らも自ら大学発ベンチャーである株式会社テクノスピーチを通して産業応用に貢献している。一方、自動インデクシングとリンク、多言語化、魅力と信頼性の評価法については特段の研究成果が見えていない。要素技術とツール化に関しては非常に高い品質の成果があるので、ターゲットを十分絞り込み、それに向けた計画の修正を行えば、十分な貢献が期待できる。

以 上